

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26 - 125	高等学校	商 業 科	ビ ジ ネ ス基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
190 東法	商業 335	ビジネス基礎 新訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点

編修にさいしては、教育基本法に定める「第一 教育の目的と理念」を参照し、人格の完成と、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成に資するように本文の著述を心がけた（教育基本法第1条）。

「第1章 商業の学習ガイダンス」・「第2章 ビジネスとコミュニケーション」・「第3章 経済と流通の基礎」・「第4章 企業活動の基礎」・「第5章 ビジネスと売買取引」の各章の編修のさいには教育基本法第2条の各目的の実現に資する題材を選定し、科目の特性と調和をとりつつ、この教科書を通して各目的を無理なく達成できるように心がけた（教育基本法第2条）。

・「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現をはかる」という観点から、8ページにおいて「主体的な学習」「継続的な学習」の項目を設定し、特に生涯にわたって学習し続けていく態度や努力（生涯学習）について著述した（教育基本法第3条）。

・「社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」（学校教育法第51条第二号）の観点から、第1章「商業の学習ガイダンス」では特に、ビジネスに関する理論と知識の習得に加えて、ビジネスに関する技術の習得についても記述した。また、倫理観や社会的責任については、特に重点的に記述している。

2. 編修の基本方針

教育基本法前文に定める伝統の継承と新しい文化の創造を目指す教育を推進することを基本方針とし、さらに個別の項目については学習指導要領と学習指導要領解説をふまえて編修した。

3. 対 照 表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵 i ～口絵 viii	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵 i 「ビジネスの学習」で、商業科のそれぞれの科目とビジネスの理解力・実践力、豊かな人間性、経済社会の発展をはかる能力・態度との関係を示した（第二号）。 ・口絵 iv 「環境問題・エネルギー問題とビジネス」で、環境問題と新エネルギーの開発、従来型エネルギーの新しい利用形態について著述し、低炭素社会をめざすビジネスの重要性を記述した（第四号）。 ・口絵 vi 「為替相場の変動とビジネス」で、外貨両替レートを表示、海外に輸出される中古車、国産自動車メーカーの海外工場、中国北京の日本の小売商を取り扱い、国際社会の平和と発展の理解につながるように配慮した（第五号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵 i ・口絵 iv ・口絵 vi
第1章「商業の学習ガイダンス」	<ul style="list-style-type: none"> ・「商業を学ぶ目的」として、基礎的・基本的な知識の重要性とスペシャリスト(専門家)について記述した（第一号）。 ・「経済社会の発展をはかる能力・態度」について豊かな人間性のうえに、自己を社会のために役立てる姿勢の重要性を記述した。 ・「豊かな人間性」の一つとして遵法精神・規範意識および倫理観について記述した（第一号）。 ・「豊かな人間性」について、「(倫理観とは)社会の一員として望ましい人間関係を築き、人びとと協調し、社会のために貢献しようとする心の姿勢」であることを記述した（第三号）。 ・自己理解と職業の理解について記述し、自己と職業との関係を考えながら、自己理解を深めていく旨を記述した（第二号）。 ・年齢やライフスタイルの異なる他者の価値観の理解について記述した（第三号）。 ・商業の学習について、職業人としての豊かな人間性を習得する必要があることを記述した（第二号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページ1行目～3ページ9行目 ・3ページ13行目～19行目 ・6ページ2行目～4行目 ・6ページ5行目～9行目 ・13ページ3行目～4行目 ・14ページ2行目～11行目
第2章「ビジネスとコミュニケーション」	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに対する倫理観・責任感・協調性について記述した（第三号） ・「働く意味～職業(ビジネス)について考える～」というコラムを設けて、働くことは、生計を維持し、社会的役割の一翼を担うほか、自分個人の能力や個性を伸ばし、発揮することにもつながる旨を記述した（第二号）。 ・地域社会への貢献や環境問題への取り組みについて、円滑なコミュニケーションの観点から著述した（第四号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18ページ～19ページ ・19ページコラム ・31ページ12行目～15行目

<p>第3章「経済と流通の基礎」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者のニーズが、最近では精神的な満足や地球環境を守ることにあることを記述した（第四号）。 ・それぞれの国の文化や歴史、慣習を尊重し、国際的な理解のうえにたったビジネスが必要なことを記述した。 ・地球環境問題とビジネスについて、環境ビジネス（エコビジネス）、廃棄物の発生抑制・再使用・再資源化、再生可能エネルギー、気候変動枠組条約の観点から記述した（第四号）。 ・マーケティングにおける社会利益志向（または社会志向）について記述した（第三号）。 ・農地の砂漠化について記述し、エジプトにおける農地の砂漠化の写真を掲載した（第四号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 57ページ1行目～2行目 ・ 59ページ1行目～2行目 ・ 62ページ～63ページ ・ 97ページ15行目～16行目 ・ 100ページ14行目 ・ 100ページ側注部分
<p>第4章「企業活動の基礎」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全が企業の社会的責任であることを著述し、容器包装リサイクル法など各種の法律について記述した（第四号）。 ・環境を考慮して自動車輸送における電気自動車やハイブリッド車への切り替えが喫緊の課題であることを記述した（第四号）。 ・環境負荷の軽減を可能にするモーダルシフトについて図解で説明した（第四号）。 ・函館の赤レンガ倉庫の写真を掲載し、倉庫業に関する理解を深めるとともに、明治時代から続く函館の倉庫業の伝統文化について理解が深まるように配慮した（第五号）。 ・企業の社会的責任（CSR）について、社会的信頼の観点から記述した（第三号）。 ・性別を理由とする雇用の差別を禁止する男女雇用機会均等法について記述した（第三号）。 ・社会的課題を解決するビジネスとして BOP ビジネスについて見開き2ページで取り扱い、洗剤やシャンプーを製造するメーカーのビジネスが、インドにおける衛生改善の普及や女性の経済的自立の支援に役立ったことを記述した。また、BOP ビジネスを推進してノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏について写真と説明を掲載した（第五号）。 ・福祉、教育、文化、国際協力などのさまざまな分野で、社会貢献活動や慈善活動をおこなう NPO について記述した（第三号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 121ページ2行目～8行目 ・ 124ページ8行目～10行目 ・ 125ページ図版 ・ 126ページ写真 ・ 148ページ2行目～16行目 ・ 149ページ1行目～2行目 ・ 152ページ～153ページ ・ 154ページ
<p>第5章「ビジネスと売買取引」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーロ紙幣、20ポンド紙幣、外国為替相場を示す電子掲示板、100ドル紙幣の写真を掲載するとともに、日本商工会議所事業部御中渡辺 泰一副部長様三浦 景子様・アメリカ・EU・イギリス・中国の通貨単位・記号・補助通貨単位をまとめた図表を掲載し、国際社会の理解が深まるように配慮した（第五号）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 186ページ～187ページ

口絵viii・ix・x	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統技術＋先進技術＋日本文化＋感性を生かした商品」として日本各地の企業の商品を紹介し、伝統と文化およびビジネスの発展について理解が深まるように配慮した（第五号）。 	・口絵ix・x
-------------	---	---------

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

・「豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」（教育基本法前文）をふまえて、6 ページに「豊かな人間性」の項目を設定し、ビジネスを遂行していくために職業人として要求される人間性という観点から、「法律を守る精神」（遵法精神）・「社会のルールを守る意識」（規範意識）・「正義や公平を重んじる職業人としての倫理観」について記述した。また、3 ページでは社会的な課題をみずから探究し、解決していく創造的な能力について記述した。

・「日本国憲法の本質」（教育基本法前文）をふまえ、140 ページで税の意義と租税法律主義について記述した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-125	高等学校	商業科	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
190 東法	商業 335	ビジネス基礎 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させるために、章末に練習課題を設けた。
- ・経済社会の一員として望ましい心構えを身につけるために、第2章第1節に「ビジネスに対する心構え」を節として設け、あいさつ・正しい姿勢・お辞儀のしかた・身だしなみ・表情・座り方・話の聞き方と話し方・電話応対・訪問と来客応対などのビジネスマナーについて記述し、あわせて倫理観・責任感・協調性および社会貢献の姿勢やホスピタリティの重要性を強調した。
- ・生徒の主体的な学習について考えさせるために、第1章の練習課題では先輩の就職先や進学先の調査、第2章の練習課題では今売れている普通乗用車や売れている曲に関する情報の収集と分析、第3章の練習課題では好景気と不景気の特徴や生活用品と産業用品の種類と特徴などを400字から800字でまとめさせる問題、第4章の練習課題では私企業の形態と特徴などについて400字から800字でまとめさせる問題、第5章の練習課題では小切手の振り出し・支払い・不渡りなどについて400字から800字でまとめさせる問題を掲載した。
- ・卒業後の進路とガイダンスに役立つように、商業の学習分野と将来のスペシャリストを見開きで構成し、マーケティング分野・ビジネス経済分野・会計分野・ビジネス情報分野が具体的にどのスペシャリストに対応するのかを15ページに図で示した。
- ・授業の配分や学習の進度を把握しやすいように、本文は原則として見開き構成としている。
- ・すべての見開きに図やイラストを原則として掲載し、生徒の興味・関心を引きつけ、理解が深まるように配慮した。
- ・経済活動における流通の意義や役割を重視し、生産から消費にいたる役割分担の変化について、小売業の業種・業態の変化と分類に関連させて記述した。
- ・情報化社会といわれる現代において、生徒が信頼性の高い情報を入手し、分析できるように、客観的信頼性が高い情報をグラフ化して多数掲載した。
- ・現代社会で重要な課題となっている環境問題に目を向けるために、口絵および第1章～第5章の随所で環境問題とビジネスの関係を記述した。
- ・経済の国際化の進展をふまえ、基本的な用語は英語表記とあわせて指導できるように、必要と思われる用語には英語表記を適宜付した。
- ・正確な用語と使用と表記の統一に気を配り、商品やサービスなどの基本概念については必要に応じて側注で定義を明確にした。
- ・キャラクターなどを用いて具体的な設問を設定し、生徒の理解を促進し、学習意欲と効果が高まるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 商業の学習ガイダンス 第1節 商業を学ぶ目的と学び方	(1) 商業の学習ガイダンス ア 商業を学ぶ目的と学び方	2～9ページ	6
第2節 商業の学習分野と職業	(1) 商業の学習ガイダンス イ 商業の学習分野と職業	10～15ページ	4
第2章 ビジネスとコミュニケーション 第1節 ビジネスに対する心構え 第2節 良好な人間関係とコミュニケーション	(2) ビジネスとコミュニケーション ア ビジネスに対する心構え イ コミュニケーションの基礎	18～37ページ	6
第3節 ビジネス情報の入手のしかた 第4節 ビジネス情報を活用する方法	(2) ビジネスとコミュニケーション ウ 情報の入手と活用	38～47ページ	6
第3章 経済と流通の基礎 第1節 経済の基礎 第2節 ビジネスの発展	(4) 経済と流通の基礎 ア 経済の基礎 イ ビジネスの役割と発展	52～63ページ	5
第3節 流通の意義と役割	(4) 経済と流通の基礎 ウ 経済活動と流通	64～75ページ	6
第4節 売買業者のビジネス	(4) 経済と流通の基礎 エ ビジネスの担い手	76～95ページ	20
第5節 流通活動とマーケティング	(4) 経済と流通の基礎 エ ビジネスの担い手	96～97ページ	1
応用的な内容 トレード・オフと機会費用 応用的な内容 食料問題とビジネス	(4) 経済と流通の基礎 ア 経済の基礎 イ ビジネスの役割と発展	98～100ページ	1
第4章 企業活動の基礎 第1節 企業の形態と経営組織 第2節 資金調達	(5) 企業活動の基礎 ア 企業の形態と経営組織 イ 資金調達	106～115ページ 116～119ページ	4 2
第3節 ビジネスの担当者	(4) 経済と流通の基礎 エ ビジネスの担当者	120～139ページ	13
第4節 企業活動と税 第5節 雇用	(5) 企業活動の基礎 ウ 企業活動と税	140～151ページ	6
応用的な内容 BOPビジネス 応用的な内容 NPO	(5) 企業活動の基礎 イ ビジネスの役割と発展 エ ビジネスの担い手	152～154ページ	1
第5章 ビジネスと売買取引 第1節 売買取引の方法	(3) ビジネスと売買取引 ア 売買取引とビジネス計算の基礎	160～171ページ	4

第2節 代金決済の方法	(3) ビジネスと売買取引 イ 代金決済	172～179ページ	4
第3節 電子商取引と代金決済	(3) ビジネスと売買取引 イ 代金決済	180～183ページ	2
第4節 ビジネス計算の基礎	(3) ビジネスと売買取引 イ 売買取引とビジネス計算 の基礎	184～209ページ	13
応用的な内容 電子手形	(3) ビジネスと売買取引 イ 代金決済	212ページ	1
		計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-125	高等学校	商 業 科	ビ ジ ネ ス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
190 東法	商業 335	ビジネス基礎 新訂版		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
210 ~ 211 ペ ージ	発展的な内容 複利原価と時間価値	1	「財務会計Ⅱ」 (2) 貸借対照表に関する会計 ア 資産会計 イ 負債・純資産会計 「管理会計」 (5) 経営意思決定と戦略的原価計算 ア 経営意思決定 「ビジネス情報」 (2) 表計算ソフトウェアの活用 ア ビジネス計算とデータの集計・分析

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2 ページ)

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容